

Yokohama Arts Foundation

令和 2 年 9 月 1 8 日
(公財)横浜市芸術文化振興財団
大佛次郎記念館

おさらぎじろう

大佛次郎の家って・・・ここですか？

テーマ展示「大佛次郎の住まいをめぐるヒストリー 鎌倉そして横浜」

大佛次郎記念館で現在開催中の本展では、大佛次郎の「住まい」をコンセプトに、生家のあった横浜から、東京、鎌倉、そして没後に開館した大佛次郎記念館までを紹介します。

プロローグ「山手 113 番のヒストリー」

1950～60 年代の山手 113 番地（当館所在地）、山手 185 番地（フランス山）周辺にお住まいだった方々にインタビューし、当時の思い出をスナップ写真とともにパネルで展示します。

第一章「大佛次郎 住まいの履歴書」

生まれ故郷の横浜、青春時代を過ごした東京、結婚後に夫妻で借家を転々とした鎌倉、そして待望の雪ノ下の新居と、大佛次郎の住まいの変遷を紹介。移り変わる住所を、それぞれの土地にまつわる大佛の文章でめぐります。

大佛次郎の書斎/寝室を再現した記念室や、ホテル・ニューグランドの思い出など、各コーナーの展示も見どころ。

第二章「MEMORY の住まい 大佛次郎記念館」

大佛次郎記念館は「大佛次郎生家のイメージ」で設計されました。館内の装飾には、フランスの三色旗(トリコロール)、幕末明治の横浜開化絵、愛猫家、四季の花など、作家・大佛次郎を特徴づける様々な要素(エレメント)がちりばめられています。是非、大佛の MEMORY を見つけてください。



【関連イベント】たてもの謎解き「ねこからの招待状」(入館者参加無料)

ねこたちから出題される謎に挑戦して館内をめぐり、オリジナル猫ふせんを手に入れよう。

会 期	2020年9月12日(土)～12月25日(金)	料 金	入館料 大人(高校生以上)200円 中学生以下 無料 ※横浜市内在住の65歳以上の方は無料 ※毎月23日「市民の読書の日」と、第2・第4土曜日は高校生無料 ※障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は無料
開館時間	10:00～17:00(入館は16:30まで)		
休 館 日	月曜日(祝休日の場合は翌平日)		

情報掲載をよろしくお願ひ申し上げます。記念館取材及び広報用画像の提供が可能です。

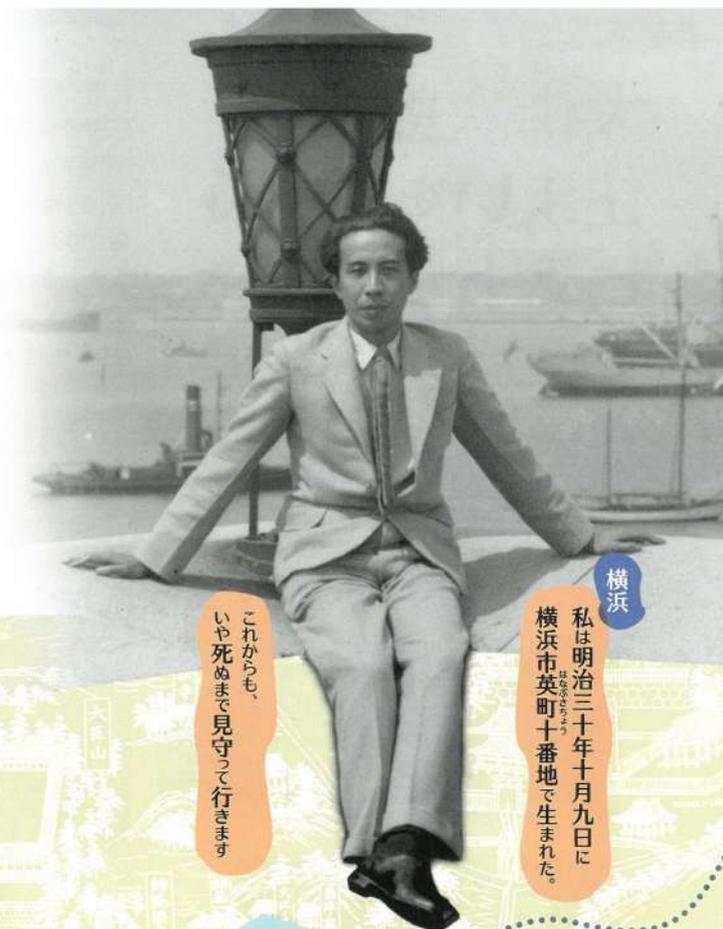
お問い合わせ先

大佛次郎記念館 【公益財団法人横浜市芸術文化振興財団】
館長：原田由布子 広報担当：大房奈央子 展覧会担当：金城瑠以
TEL：045-622-5002 mail：osaragi@yaf.or.jp

おさらぎ じろう

大佛次郎の 住まいをめぐる ヒストリ 鎌倉 そして 横浜

2020.9/12 土 ~ 12/25 金



横浜

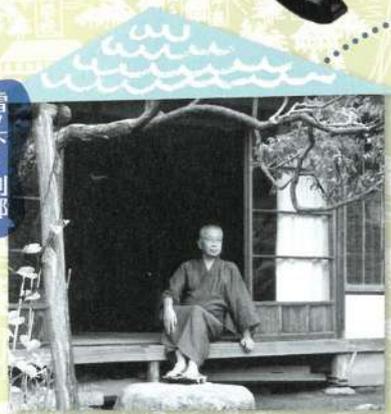
私は明治三十年十月九日に
横浜市英町十番地で生まれた。

これからも、
いや死ぬまで見守って行きます



雪ノ下・自邸

私は本の中に埋もれて暮している。



雪ノ下・別邸

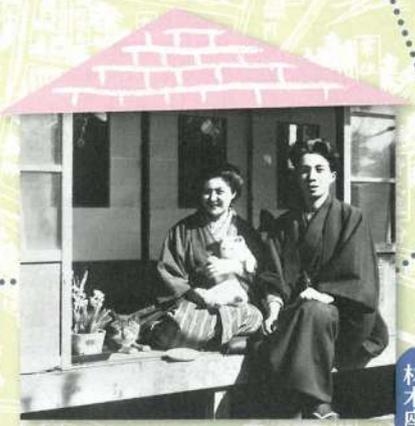
路地をへだてて別の棟を持ち、
客もそちらでするようにした…



長谷

物を書き始めた頃、
鎌倉の長谷の大仏の裏に住んでいた。

僕は小さい電燈のついた家の中へ妻と落着き、
小猫を買って来て飼った。



材木座

大佛次郎記念館をめぐる
たても謎解き
「猫からの招待状」

開館時間 10:00~17:00 (最終入館16:30)

休館日 毎週月曜日 (祝休日の場合は翌平日)

観覧料 一般/200円 中学生以下/無料 20名以上の団体は150円

※横浜市内在住の65歳以上の方は無料。 ※障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は無料。 ※毎月23日(市民の読書の日)と第2、第4土曜日は高校生無料。

※新型コロナウイルス感染症の状況により、内容等が変更・中止となる場合がございます。大佛次郎記念館ホームページで、最新の情報をご確認ください。

1914年(大正3)発行「鎌倉遊覧名所全図」、大佛次郎旧蔵

大佛次郎記念館 The Osaragi Jiro Memorial Museum

(公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団)

〒231-0862 横浜市中区山手町113(港の見える丘公園内) TEL:045-622-5002 FAX:045-622-5071 <http://osaragi.yafjp.org>

協賛 株式会社浦辺設計/株式会社ボンパドウル/横浜高速鉄道株式会社/大佛次郎研究会



